

停電時の使い方（自立運転）

停電が発生した際は、本製品は停電時の運転に自動で切り替わり、ホーム画面上に「停電時運転中」を表示します。

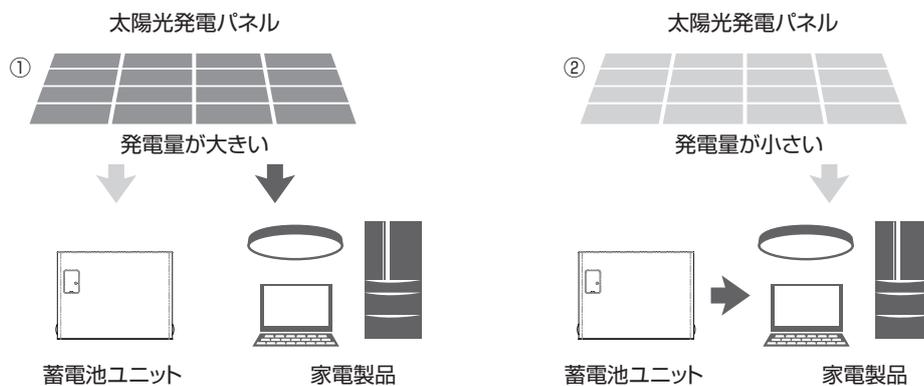


蓄電池ユニットの停電時運転モードについて

- 製品出荷時の設定および停電した際の運転モードは「自動給電切換設定」です。

自動給電切換設定

太陽光発電電力とご家庭内の家電製品の電力使用量を判断しながら、蓄電池ユニットからの放電や蓄電池ユニットへの充電の切り替えを自動で行います。通常は、こちらをご利用ください。



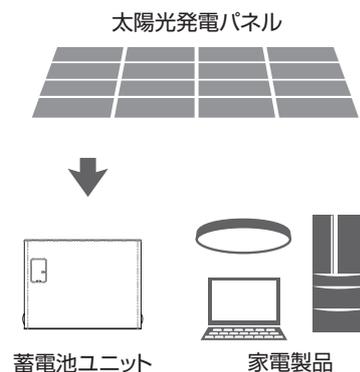
- ①太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を蓄電池ユニットに充電します。
- ②太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、蓄電池ユニットから家電製品に給電します。

蓄電池充電

停電時の蓄電池充電は、太陽光発電から蓄電池ユニットへの充電のみ行います。

充電動作中は家電製品への給電を一切行いません。

充電完了後は、待機状態となりますので、「自動給電切換設定」に切り替えてください。



メモ

- 停電時運転モードは、停電発生時のみ設定変更が可能です。
- 室内リモコンの電源 OFF 後、再度室内リモコンを起動した場合は、自動給電切換設定に切り替わります。

蓄電池ユニットの停電時運転モードを選ぶ（停電時）

停電発生時は、停電時運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 製品出荷時の設定および停電した際の運転モードは、「自動給電切換設定」です。

1 「モード」をタッチする



「停電時運転モード設定」画面に切り替わります。

メモ

蓄電池ユニットがない場合は、「モード」ボタンは表示されませんので、本設定を行うことはできません。

2 運転モードを選択し、「確定」をタッチする

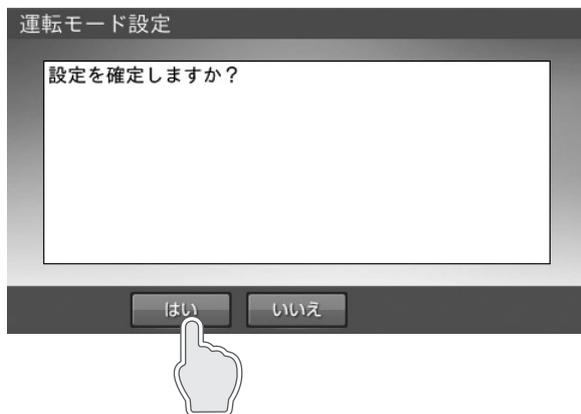


「自動給電切換設定」または「蓄電池充電」を選択してタッチします。

メモ

- 本設定は、停電発生時のみ設定変更が可能です。
- モードの選択を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄してホーム画面に戻りますか？」の確認画面を表示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、ホーム画面または停電時運転モード設定画面に戻ります。

3 「はい」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

停電時の家電製品の使い方について

AC100V, 200V 機器合わせて、消費電力 3500W を目安に家電製品をご使用できます。

(定格出力・・・蓄電池のみのとき：片相 2.0kVA / 両相合計 4.0kVA(※)、

4.0 kW 以上太陽光発電している場合：片相 2.95kVA / 両相合計 5.9kVA)

※：蓄電システムの型番により、最大出力電力が変わります。「蓄電池ユニットの充放電仕様について」(62 ページ) 参照

- 機能分電盤の自動切替スイッチが切り替わる時、2 秒程度電気の供給が瞬断します。そのため、途中で電源が切れると困る家電製品や機器（医療機器等）は接続しないでください。
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつく場合や、動作しない場合があります。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを利用するには、動作させる前に、他の家電製品を減らすなど、蓄電システムが供給できる電力を超えないように工夫してください。
- 蓄電システムが供給できる電力以上の家電製品が接続された場合は、室内リモコンにメッセージを表示して家電製品への給電を停止します。その場合は、接続している家電製品の数を減らしてシステムを再起動させてください。また、突入電流などの家電製品の特性により、同様の現象が発生する場合があります。
- 動作電流が大きい家電製品や業務用機器などは自立運転切り替え時に動作しなかったり、過電流保護が働いてしまう可能性があります。

家電製品をご使用の際は、下記のとおり注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止 ^{※1}	医療機器等
安全にかかわる機器	接続禁止 ^{※2}	エレベーター等
途中で電源が切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止 ^{※1}	デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、業務用機器等
消費電力（動作電流）が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器等
保温機能がある家電製品	動作しない場合がある	炊飯器、温水洗浄便座等

※ 1：停電時に製品の使用が必要となる場合は、製品にて要求されているバックアップ電源を別途使用してください。

※ 2：安全にかかわる機器は、停電時に本製品から給電されない配線へ接続されるため、動作させることはできません。



本製品では災害による停電の場合、自動的に自立運転に切り替えて電力供給を開始するため、通電火災を引き起こすおそれがあります。そのため、電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品の扱いについては、下記の点にご注意ください。

- 連系運転時：本製品に接続したままにせず、ご使用後は本製品から外してください。
- 自立運転時：通電しても安全であることを確認した後、本製品に接続してください。

電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品一例



<停電時にご利用できる家電製品の目安>

「蓄電池放電下限値（非常時安心設定）：70%」の場合は、以下のとおりに家電製品の使用が可能です。

接続家電製品例	同時使用可能時間 (蓄電池容量 / 蓄電システム型番 / 蓄電池ユニット型番)			
	4.9kWh / ESS-T3S* / ES-T3S*	7.4kWh / ESS-T3M* / ES-T3M*	9.9kWh / ESS-T3L* / ES-T3S*+ ES-T3L*	14.9kWh / ESS-T3X* / ES-T3M*+ ES-T3X*
LED照明 (10W) 冷蔵庫 (70W) テレビ (150W) ルーター・TVブースター等 (10W) 携帯電話 (2台 10W)	最大 6 時間	最大 10 時間	最大 13 時間	最大 20 時間

※ 蓄電池の劣化 (50%) を見込んでいます。(容量保証・・・15年)

※ 実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。

※ 蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電している時にのみご利用できます。

復電時の操作

- 停電後、復電した場合は、本システムに対して特別な操作はありません。
- 電力会社との協議で定められている時間内（最大 5 分）は、復電しても停電時の動作となります。復電後、電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。